

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35083
事業名	児童福祉施設給付費					
評価担当課	所 属	子)児童相談所 地域連携課			電話番号	622-8620
施策名	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	①児童福祉法に基づき、障害を有する児童が障害児施設を利用するために必要な費用を支払っている。 ②平成18年10月より、障害者自立支援法の施行等に伴い、利用者のうち、主に低所得者層の利用者負担額等が急騰。この激変を緩和する目的で、当制度を開始した。
	事業内容(何を実施し)	①障害児入所給付 障がいをも有する児童の障害児施設利用に係る、障害児施設給付費(国保連合会からの請求)、食事療養費の支払い、厚生労働省への報告など。 ②児童発達支援センター利用者負担軽減 平成18年10月から、障害者自立支援法の施行に伴う児童福祉法改正による制度変更のため、児童発達支援センターの利用者に対し、世帯の課税状況に応じ、激変緩和措置として利用者負担額または食費実費分を軽減している。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	①児童福祉法に基づき、障害を有する児童が障害児施設を利用するために必要である。 ②児童発達支援センターを利用する児童について、利用料の納付困難を理由とした利用控えにより早期療育の機会を剥奪しないことを目的としてきた。
	他都市の状況	児童相談所設置義務のある都道府県及び政令指定都市において同様
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	381,678 千円	うち特定財源	170,978 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度予算額	451,569 千円	うち特定財源	225,775 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度決算額	350,773 千円	うち特定財源	153,434 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和6年度予算額	410,856 千円	うち特定財源	205,428 千円	正規職員業務量	0.3 人工

指標	アウトプット活動指標1	利用契約による扶助費の支給のため、指標の設定は難しい			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	②事業導入から10年以上が経過し、激変緩和としての目的は十分果たしていることや、ようじ利用者数の減少から、令和5年度で廃止。
来年度以降の方向性	①現状維持。